

令和7年度 紀の川市立池田小学校 スクールプラン

紀の川市学校教育指針

一人一人の子どもが主語となる学校教育の実現をめざして



【校訓】 明るく たくましい すなおな子

【学校教育目標】

「夢をいただき、すすんで学び、未来をひらく児童の育成」

- ・自ら学び、仲間とともに高め合う子（学力）
- ・豊かな心を持ち、ねばり強く挑戦する子（心力）
- ・心身ともに健やかで、たくましく生き抜く子（体力・心力）

【研究主題】

「主体的に考え、学びを深めることができる児童の育成

～自分の考えを持ち、自分のことばで表現する授業の実践（支援教育の視点をもって）～

前年度の学校評価

- 研究授業、互見授業の充実
- 教員個々の授業力の充実
- 「早寝 早起き 朝ごはん」の促進
- 学校の取組が保護者や地域に分かりにくい

児童の実態

- 明るく温厚でやさしく素直である
- 学校が楽しいと感じている児童が多い
- 自分の思いや考えを自信をもって表現することが苦手
- 家庭学習や読書の習慣をつける必要がある

保護者や地域の願い

- 基礎・基本を確実に身につけ、学力を高めてほしい
- どの子どもも安心して安全に過ごせる学校にしたい
- 相手の気持ちが分かる子どもに育ててほしい
- 地域の方に愛され、地域に愛着をもち、将来は地域の担い手になってほしい

【目指す学校像】

- ・安全で児童一人一人の居場所があり、安心して学び合える学校
- ・ふるさとへの愛情と愛着を育み、地域に貢献できる学校
- ・幼児教育を受け継ぎ、社会性と学力向上を保障し、中学校につながる学校

【目指す教職員像】

- ・温かい心と柔軟な対応力を持ち、よき伴走者として信頼される教職員
- ・児童一人一人のよさや可能性を見出し、自信をもたせる教職員
- ・より高い目標にチャレンジする意欲を持ち、学び続ける教職員

つながる つなげる いけだのわ

地域とともに「チーム池田」で

重点目標

確かな学力

- 基礎・基本の確かな定着
- 児童主体の授業づくり
- 総合的な学習の時間の充実
- ICT教育の充実
- 家庭学習の習慣化 ○図書館活用の推進

豊かな心

- 仲間づくり・学級づくり
- いじめの未然防止、早期発見、早期対応
- 特別活動・道徳教育・人権教育の充実
- 読み聞かせ・読書活動を通じた感性の育成

健やかな心身

- 基本的生活習慣の確立
- 自主マラソンの促進と朝の運動の充実
- 体力向上の推進
- 穏やかな行動や言動をとれる児童の育成
- 危機回避能力の育成

支援教育の充実

- 個々の児童の特性を理解した支援の充実
- 持続できる研究体制の確立
- 自立できる児童の育成
- 夢を語る児童の育成

地域とともにある学校

- 家庭・地域との連携
- 幼児・小中の連携の推進
- 地域の資源活用の推進
- 学校運営協議会の充実

具体的な取組

- 池小スタンダード・紀の川市学習のスタンダードを徹底し授業づくり
- 計画的・積極的な問題解決学習の促進
- 家庭学習の定着及び内容の充実
- 学校図書館の効果的な活用（学校司書）

- 児童が主体的に関わる学級活動・児童会活動の実施
- いじめアンケートの毎学級実施
- 特別の教科・道徳の充実
- 読み聞かせ・読書活動の実施

- 「早寝 早起き 朝ごはん」の促進
- 自主マラソンの促進と朝の運動の充実
- アレルギー等緊急対応の徹底
- 校内での安全に配慮した行動の啓発
- 避難訓練や交通安全教室の計画的な実施

- 児童に寄り添い、児童が安心できる支援・言葉かけ
- 定期的な特別支援協議会の協議・研究
- 自立活動の見直し及び充実
- 支援に必要な児童の職員間での共通理解の機会確保

- 校報「いけだ」、学年だより、学級だより、HP等を通じた学校情報の発信
- 授業や行事等の積極的な公開
- 「幼保こ」との連携、中学校区での「小・小」「小・中」の連携強化
- 地域の人材や自然・文化の積極的な活用

指標

- ・全国学力・学習状況調査、県学習到達度調査で正答率全国・県平均以上
- ・「授業が分かる」(児童90%)
- ・「分かる授業、考える授業」の実践(教師90%)
- ・「自分の言葉で発表できる」(児童75%)
- ・問題解決学習の実践(教師90%)

- ・学校が楽しいと感じる(児童90%)
- ・いじめの解消率(100%)
- ・道徳の時間の計画的実践(教師90%)
- ・「読書を全くしない」(児童10%以下)

- ・自主マラソンや県チャレンジングに参加する児童の増加
- ・給食のアレルギーひやりはと事案発生(0件)
- ・基本的生活習慣の定着(保護者90%)
- ・交通事故事案発生(0件)

- ・自信をもって活動できる児童の増加
- ・守られている、安心できると感じられる児童の増加
- ・将来の夢を語る児童の増加
- ・職員間での児童の理解の増加

- ・学校の様子がよく伝わった(保護者90%、地域80%)
- ・幼保こ中との交流、連携した取組の増加
- ・地域の人材や素材を活用した教育活動の推進(教師100%)